

平成 24 年度
推薦入試学生募集要項

横浜国立大学理工学部

平成 23 年 11 月

目次

横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
1. 募集人員	3
2. 出願資格	3
3. 出願手続	3
4. 出願にあたっての注意事項	4
5. 入学検定料	5
6. 障害等のある入学志願者の事前相談について	6
7. 入学者選抜方法	7
8. 試験日程	8
9. 入学手続	8
10. 不合格となった場合に備えて	9
11. 個人情報の取り扱いについて	9
キャンパス案内図	10
交通案内図	11

添付書類

この要項には、下記の本学所定の書類等が添付されています。

1. 志願票
2. 受験票・写真票
3. 推薦書
4. 推薦書記入上の注意
5. 入学確約書
6. 「振替払込受付証明書（お客さま用）」貼付用紙
7. 入学検定料払込取扱票（検定料 17,000 円）
8. 返信用封筒（速達長形 3 号） 2 通
9. 住所・氏名記入用紙（シール）
10. 出願書類用封筒（書留速達角形 2 号）

横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

横浜国立大学では、社会に貢献できる意欲的な学生を求めます

真の実力を得たい！

社会においてリーダー的存在になる真の実力を得たい人

洞察力を磨きたい！

科学的探求心を尊重し、チャレンジ精神に基づく研究・創造の場を通して、深い知識と洞察力を獲得したい人

世界の舞台で活躍したい！

国際性溢れる環境の中で、外国人学生と共にコミュニケーション能力を高め、世界に発信・飛躍したい人

高度な専門知識で社会に貢献したい！

大学院に進学し、さらに高度な専門的知識を身につけ、専門的な職種や職業で社会に貢献したい人

自然に恵まれた常盤台キャンパスで学問を学び、世界中からの友と語りつつ、柔軟な発想と総合的・創造的な課題探求・解決能力を身につけ、社会の中核となってグローバルな共生社会に貢献したいと思う人を求めています。

【横浜国立大学学士課程の教育目標】

横浜国立大学の4つの精神 - 実践性・先進性・開放性・国際性 - を踏まえて、本学は大学全体としての学士教育の更なる充実に向けた教育目標を定め、学内の各組織はそれぞれが担うべき学士課程の教育目標および育成人材像を明確にして、体系的な教育を実施します。

- (1) 学芸・諸科学に関する豊かな知的資産を学び、それらを活かす高度な実践的能力を備え、社会の中核となって活躍できる人材を育成する。
- (2) 研究成果に基づく教育を通して、豊かな知性・感性を養うとともに諸課題を解決に導く思考力や判断力を磨く。
- (3) 社会・文化・自然の多様性を尊重しつつ国や社会を超えて多様な人々と交流し、共生社会の実現を図る高いコミュニケーション能力を養う。
- (4) 高い倫理観を養いつつ積極的に課題を探求し、解決する強い意欲や責任感を高める。

本学の詳細な教育目標・方針については、本学 WEB サイトに掲載の『「学士力」を磨く YNU initiative』をご覧ください。

理工学部の入学者受入方針

理工学部では、理工学の学びを通して実践的「知」を身につけたい意欲的な学生を求めます。

自然科学の真理探究や独創的なもの作りを通して、自ら成長・発展しようとする人
何ごとにも旺盛な好奇心を持ち、失敗をおそれない、チャレンジ精神にあふれている人
新しい時代に対応できる理工系のセンスと国際的な視野を磨こうとする人
胸がときめくようなアイデアを確かな知識と技術で実現しようとする人
我が国が世界から信頼される存在となるよう、自分の仕事を通じて貢献したいと願う人

【理工学部 of 教育目標】

地球規模の環境問題など社会の要請を把握し、自然科学の真理を追究し、産業を発展させ、輝ける未来を切り開くために研究者・技術者の果たすべき役割はより大きくなっています。実践的学術の国際拠点を目指す本学・理工学部では、自らの専門分野における専門能力と高い倫理性を持ち、広く科学技術に目を向ける進取の精神に富む人材育成を目的とします。

学科及び教育プログラムの入学者受入方針

化学・生命系学科の入学者受入方針

自然の真理追究・ものづくり・エネルギー・環境・安全・生命に関心を抱き、自然科学を真摯に学ぼうとする熱意とそれに相応しい素養を持ち、豊かな 21 世紀における人間社会の構築を目指したいと考えている人を求めます。

向学心に燃え、また発想が豊かで柔軟性のある応用力を発揮できる人を求めます。

<化学教育プログラム>

- ・化学の基本知識を中心に据え、あらゆる自然科学の知識を活用して物質の世界の真理を原子や分子レベルから探求する科学研究者、および最先端化学とその利用に関わる科学技術者を目指す人

<化学応用教育プログラム>

- ・化学の基本知識を応用し、物理を活用して、高度な化学反応プロセスや先端材料、新エネルギー材料の開発、実践的な安全管理や環境創出といった未来社会への課題解決に貢献できる技術者・研究者を目指す人

<バイオ教育プログラム>

- ・生物学、化学、物理学に立脚した現代生物学の方法を通して生命を理解し、その成果を食料問題や生命・医療などのグローバルセキュリティ課題の解決に応用できる技術者・研究者を目指す人

建築都市・環境系学科の入学者受入方針

建築都市・環境系学科は、建築から、都市、地域生態系、海洋、地球、宇宙へと広がる人々が暮らし活動する空間とその環境に興味を抱き、創造性、自発性、探究心、行動力にあふれた人を求めます。

<地球生態学教育プログラム>

身近な自然や、生物多様性、地球温暖化などに興味を持っていて、以下のような進路をめざす人を求めます。

- ・科学者や技術者、社会のリーダーとして地域の自然環境問題の科学的な解決を目指そうとする人
- ・研究者として環境科学や関連する自然科学を発展させたり、高等学校理科教員として自然についての知識を次世代に伝えたいと考えている人

平成 24 年度横浜国立大学理工学部 推薦入試学生募集要項

1. 募集人員

学科	教育プログラム	募集人員
化学・生命系学科	化学教育プログラム及び化学応用教育プログラム	22 名
	バイオ教育プログラム	6 名
建築都市・環境系学科	地球生態学教育プログラム	5 名

(注1) 出願できる学科・教育プログラムは1つのみです。

(注2) 「化学教育プログラム及び化学応用教育プログラム」に入学した者は、第2学年進級時に本人の希望と科目履修状況等に基づき「化学教育プログラム」又は「化学応用教育プログラム」に所属します。

2. 出願資格

次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者

【基礎資格】

出身学校長の推薦を受けた者で、平成 23 年 4 月から平成 24 年 3 月までに高等学校若しくは中等教育学校を卒業または卒業見込みの者で、かつ、平成 24 年度大学入試センター試験において学科の指定する教科・科目のすべてを受験した者

【要件】

次の(1)から(4)のすべてに該当する者

- (1) 出身学校長が人物、能力等について責任をもって推薦できる者
- (2) 調査書の全体の評定平均値が 4.0 以上の者
- (3) 高等学校若しくは中等教育学校で理科を 2 科目以上履修した者
- (4) 合格した場合には入学の確約ができる者

3. 出願手続

(1) 出願期間

平成 24 年 1 月 19 日(木)～平成 24 年 1 月 25 日(水)まで

(注) 上記期間内に必着するように郵送して下さい。ただし、締切日〔1月25日(水)〕を過ぎて到着した出願書類のうち、平成 24 年 1 月 24 日(火)までの発信局消印のある書留速達郵便に限り受理します。

(2) 出願方法

志願者の在籍する学校長が必要な出願書類を取り揃え、本学所定の出願書類送付用封筒を使用して、書留速達で郵送して下さい。(大学に持参しての窓口受付は取り扱いしません)

なお、一つの学校から複数名出願する場合は、志願者ごとに書類を郵送して下さい。

(3) 出願書類等

志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入し、「平成 24 センター試験成績請求票 ^{推薦} 国公立推薦入試用」を所定欄に貼り付けてください。裏面の「受験を要する大学入試センター試験教科・科目申告表」により、指定の教科・科目を受験していることを、確認欄に 印を記入することにより申告してください。
受験票・写真票	本学所定用紙に必要事項を記入して、出願日前 3 か月以内に撮影した上半身脱帽・正面向きで同一の写真（縦 4 cm × 横 3 cm）を受験票・写真票の所定欄に貼付してください。 なお、裏面に氏名を記入しておいてください。
調査書	文部科学省の定めた様式により出身学校長が作成し厳封してください。東日本大震災による被災の影響により、調査書の発行に支障がある場合は、出願期間前に理工学系大学院等入試係までご相談ください。
推薦書	本学所定用紙により出身学校長が作成し厳封してください。
入学確約書	本学所定用紙に必要事項を記入してください。
入学検定料	払込金額 17,000 円 払込方法等の詳細については、「5.入学検定料」を参照してください。
返信用封筒（2 通）	本学所定の返信用封筒に 360 円切手を貼り付けて、志願者宛(1 通)と在籍学校長宛(1 通)を提出してください。
住所・氏名記入用紙	入学手続書類等の送付に使用しますので、本学所定の用紙（2 枚）に正確に記入してください。

出願書類を受理した者に対して、「受験票」を郵送します。

4. 出願にあたっての注意事項

- (1) 国公立大学の推薦入試に出願できるのは 1 つの大学、学部に限られています。
- (2) 志願票及び受験票・写真票の該当事項は で囲み、 印の箇所は記入しないでください。
- (3) 志願票の「連絡先」は、大学からの通知が確実に届く宛先（日本国内に限る）を明記してください。なお、電話番号が呼出しの場合は、「呼出」と明記してください。また、出願後「連絡先」及び電話番号を変更した場合は、受験番号及び氏名を明記して理工学系大学院等入試係に届け出てください。
- (4) 出願書類等で厳封するよう指示があるものは、必ず出身学校長にて厳封された状態で提出してください。厳封されていない場合には受理しません。
- (5) 出願後の書類内容及び志望する学科・教育プログラムの変更は認めません。出願にあたっては、提出書類に記入漏れや誤りがないか十分注意してください。
- (6) 出願書類等に不備がある場合は受理しません。なお、提出された出願書類等は一切返却しません。
- (7) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した際、入学許可を取り消すことがあります。

5. 入学検定料

(1) 入学検定料の払込について

- 払込金額 17,000 円
払込期間 出願期間に間に合うように払込んでください。
払込場所 郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口（ATM は使用不可）
払込方法

- ア. 本要項に同封の「払込取扱票」を使用し、各票のご依頼人は、志願者本人の氏名を記入してください。（志願票の氏名と照合します。）
イ. 「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書（お客さま用）」を郵便局・ゆうちょ銀行受付窓口から受け取る際には、必ず受付局の日附印を確認してください。
ウ. 払込時に別途必要な払込手数料は志願者本人の負担となります。

(2) 入学検定料の返還について

払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

入学検定料の返還請求ができるもの

- ア. 入学検定料を払い込んだが横浜国立大学理工学部推薦入試に出願しなかった場合
イ. 入学検定料を誤って二重に払込んだ場合
ウ. 出願書類等の不備により出願が受理されなかった場合
エ. 出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合

返還する入学検定料の金額

志願者の申し出により、上記（2） ア、イ、ウについては 17,000 円を、エ については 13,000 円を返還します。

返還請求の方法

上記（2） のア、イに該当するものは、以下（ 1）a～d の 4 項目を明記した入学検定料返還請求願（様式は問わない）を作成し、必ず「振替払込受付証明書（お客さま用）」を添付して、横浜国立大学理工学系大学院等入試係（ 2）へ速やかに郵送してください。また、ウの場合は出願書類返却時に、エの場合は該当事項の通知時に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

- 1 入学検定料返還請求願（様式は問わない）に記載する項目
 - a. 返還請求の理由 b. 氏名（ふりがな） c. 現住所 d. 連絡先電話番号
- 2 送付先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5
横浜国立大学理工学系大学院等入試係

6. 障害等のある入学志願者の事前相談について

- (1) 障害〔下表参照〕等のある入学志願者で、受験上あるいは修学上特別な配慮を必要とする者は、出願する前に相談してください。相談の結果は決定次第、本人に連絡します。また、下表から判断できない場合については、理工学系大学院等入試係までお尋ねください。
- (2) 出願受付終了後に、不慮の事故等のため、受験上あるいは修学上特別な配慮が必要な場合は、速やかに本人または代理人が医師の「診断書」等を添えて申請してください。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの。
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの。
肢 体 不 自 由	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの。 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの。
病 弱	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの。 二 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの。

- (3) 申請は、下表の様式例を参考に申請書を作成し、診断書又は身体障害者手帳(写)、その他参考資料を添えて申請してください。なお、申請内容によっては対応に時間を要する場合がありますので、出願する前のできるだけ早い時期に相談してください。

(様式例) A4 判縦	平成 年 月 日
横浜国立大学長 殿	ふり がな 氏 名 生年月日 住 所 〒 電話番号
横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。	
記	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 志望する学部・学科・教育プログラム 2. 障害等の種類、程度 3. 受験に際して希望する受験特別措置 4. 入学後の修学に際して希望する特別措置 5. その他 	
(添付書類) 診断書または身体障害者手帳(写)、その他参考資料	

7. 入学者選抜方法

(1) 入学者の選抜は、平成 24 年度大学入試センター試験の成績・推薦書・調査書及び面接によって行います。

出願にあたっては、下記のとおり指定する「大学入試センター試験で課す教科・科目」を受験していることを、志願票裏面の「受験を要する大学入試センター試験教科・科目申告表」により必ず確認のうえ申告してください。なお、出願受付後に指定する教科・科目を1科目でも受験していないことが判明した場合には、面接試験を受験できません。

大学入試センター試験で課す教科・科目は、次のとおりです。(5教科7科目)

- ・ 国語(「国語」)
 - ・ 地理歴史(「世界史A」,「世界史B」,「日本史A」,「日本史B」,「地理A」,「地理B」)
 - ・ 公民(「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」,「倫理、政治・経済」)
 - ・ 数学(「数学」・数学A)
- } から1
- (「数学」・数学B,「工業数理基礎」,「簿記・会計」,「情報関係基礎」から1)
- ・ 理科

化学・生命系学科

(「物理」,「化学」,「生物」から2)

建築都市・環境系学科

(「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から2)

- ・ 外国語(「英語」,「ドイツ語」,「フランス語」,「中国語」,「韓国語」から1)

(注1) 「工業数理基礎」,「簿記・会計」,「情報関係基礎」を選択解答できる者は、専門教育を主とする学科及び総合学科を持つ高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。

(注2) 「地理歴史」及び「公民」において2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。

(注3) 各科目の得点は素点を利用します。なお、「英語」についてはリスニングテストを含み、筆記試験とリスニングテストの合計250点満点を以下のとおり200点満点に換算します。
(筆記試験 200 + リスニングテスト 50) × 0.8

教科名	国語	地歴又は公民	数学	理科	外国語	配点合計
配点	200	100	200	200	200	900

(注4) 志願票裏面の「受験を要する大学入試センター試験教科・科目申告表」により指定する教科・科目を全て受験済みであると申告したにもかかわらず、本学が大学入試センターからの成績提供を受けた結果、指定教科・科目を1科目でも受験しなかったことが新たに判明した場合、その志願者は無資格者となります。この場合、推薦入試の受験はできません。

(2) 面接の内容

学科	教育プログラム	面接内容
化学・生命系学科	化学教育プログラム及び化学応用教育プログラム	複数の面接員による個人面接で、もの作りや自然現象に関する興味、数学・理科および英語に関する基礎知識、健全な大学生活を送る上での適性などを評価します。
	バイオ教育プログラム	複数の面接員による個人面接で、自然や生命現象に関する興味、数学・理科および英語に関する基礎知識、健全な大学生活を送る上での適性などを評価します。
建築都市・環境系学科	地球生態学教育プログラム	複数の面接員による個人面接で、自然や環境に関する興味、積極的に取り組む姿勢、健全な大学生活を送る上での適性などを評価します。

8. 試験日程

(1) 面接試験実施日及び場所

平成 24 年 2 月 2 日（木） 横浜国立大学理工学部で実施します。集合時間及び集合場所の詳細は受験票に同封します。

注意

試験当日は、本学で交付する「推薦入試受験票」及び「大学入試センター試験受験票」を必ず持参してください。

(2) 合格発表

平成 24 年 2 月 4 日（土）13 時ごろ

本学ホームページ（<http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html>）に合格者受験番号を掲載するとともに、合格者へ合格通知書及び入学手続き書類等を郵送します。また、在籍学校長に合否の結果を通知します。

電話による合否結果の問い合わせには一切応じません。

ホームページでの掲載期間は、合格発表日から概ね 4 日間程度とします。

携帯電話には対応していません。

9. 入学手続

合格通知を受けた者は、郵送（書留速達）により下記の期間内（必着）に入学手続を行ってください。

(1) 入学手続期間

平成 24 年 2 月 5 日（日）～2 月 13 日（月）（最終日 17 時まで**に必着**）

合格者には、合格通知書とともに入学手続き書類等を送付します。入学手続の詳細は、同封の「入学手続について」で確認してください。なお、入学手続には「大学入試センター試験受験票」が必要です。

【入学手続時に必要な費用】

入学料 282,000 円〔現行〕

【入学後に必要な費用】

授業料 春学期分 267,900 円〔現行〕

(年額) 535,800 円〔現行〕

(注1) 入学料及び授業料は、改定される場合があります。

(注2) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

(注3) 詳細は入学手続き書類と一緒に送付します。

(2) 入学手続に関する留意事項

合格者が、期間内に入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取扱い、これ以降の入学手続きを認めません。

合格者が入学手続を完了したときは、本学及び他の国公立大学・学部の一般入試を受験しても合格者とはなりません。

合格者が特別の事情により入学を辞退する場合は、推薦した学校長から「推薦入学辞退願」（任意様式）を平成 24 年 2 月 15 日（水）までに横浜国立大学長に提出し、その許可を得た場合に限り入学辞退が認められます。この手続きをとらずに、出願済みの他の国公立大学・学部を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。

入学又は入学辞退のいずれの手続きも行わないままとすることのないように注意して下さい。

10. 不合格となった場合に備えて

不合格となった場合に備えて、国公立大学の一般入試を受験しようとする者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。(独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く)その際、大学入試センター試験の指定教科・科目の受験等志望する各大学・学部の出願要件に留意してください。

本学に出願する場合は、「平成 24 年度一般入試学生募集要項」により出願してください。

独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部は、公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) を参照してください。

11. 個人情報の取り扱いについて

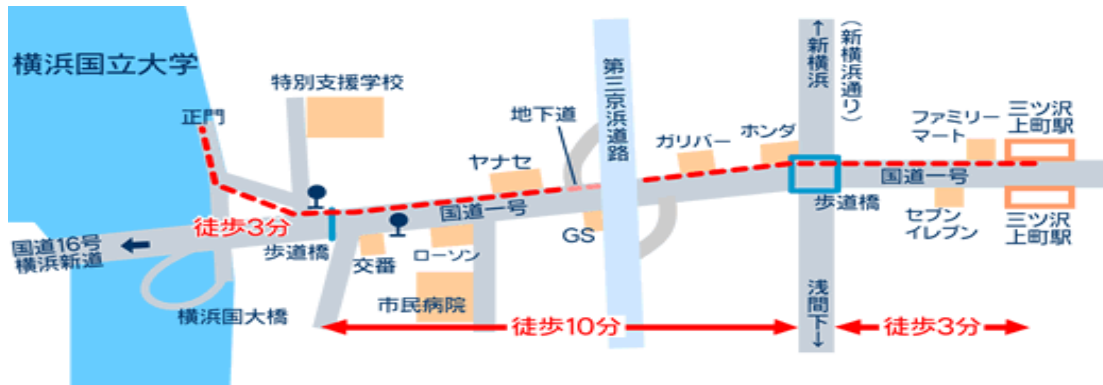
個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、合格者への連絡業務(奨学金や保険等に係る福利厚生関係資料や入学後の行事等に関する資料の送付)、入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除等の福利厚生関係の資料、本学における諸調査・研究にも利用することがあります。調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。
- (2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センターの受験番号に限って、合格及び入学手続き等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- (3) 上記(1)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者(以下「受託業者」という。)において行うことがあります。
受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

交通案内図

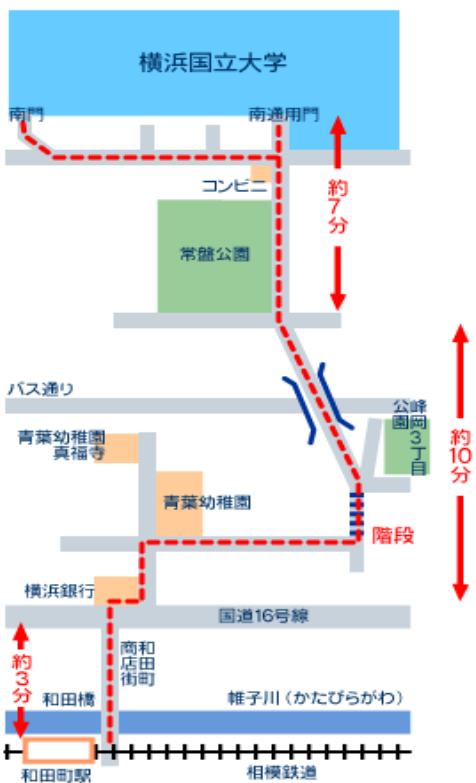
横浜市営地下鉄線

【三ツ沢上町駅】(改札を出て右側2番出口) → 正門へ



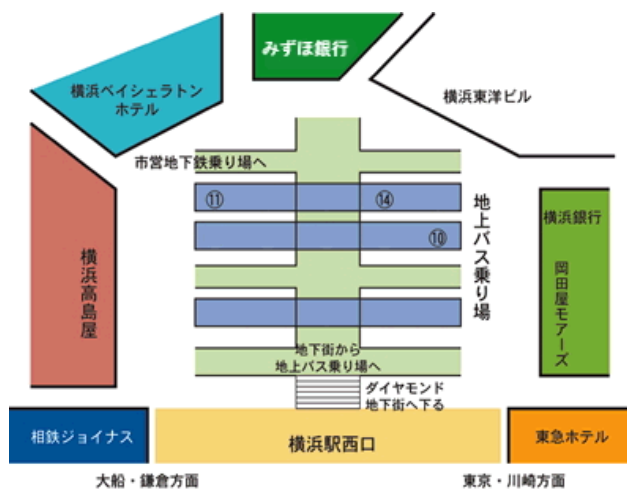
相模鉄道線

【和田町駅】 → 南門、南通用門へ



バス

【横浜駅西口】 → 正門、大学構内バス停留所(平日のみ)



横浜市営バス	【下車停留所】
番乗口 循環外回り 202 系統「横浜駅西口行」 番乗口 【急行】329 系統「横浜駅西口行」 番乗口 循環内回り 201 系統「横浜駅西口行」	「岡沢町」
相鉄バス 番乗口 浜 10 系統「横浜駅西口行」 番乗口 浜 5 系統「交通裁判所経由横浜駅西口行」	「岡沢町」 又は 「国大北(平日のみ)」 「国大西(平日のみ)」
神奈中バス 番乗口 01 系統「中山駅行」	「岡沢町」

「国大北」・「国大西」は、大学構内のバス停留所です。(平日のみ利用可能)

- 注 1 各バスの時刻等は、横浜市交通局、相鉄または神奈中のホームページ等により各自で確認して下さい。
- 注 2 横浜市営バス「201 系統・329 系統」及び相鉄バス「浜 10 系統」は、平日のみ大学構内への乗り入れを行います。
- 注 3 上記のバス案内には、運行本数が少ない路線や土曜休日は運行しない路線もありますので注意してください。
- 注 4 バスは、交通渋滞により遅れる可能性があるため、試験当日は 又は による徒歩をお勧めします。

<お問い合わせ先>

横浜国立大学理工学系大学院等入試係

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

〔窓口取扱時間〕 8:30～12:45, 13:45～17:00 (平日)

土日・祝日及び年末年始(12/29～1/3)は休業です。

TEL : 045-339-3821,3822

FAX : 045-339-3820

E-mail : ses.nyushi@ynu.ac.jp

(注) 電話でのお問い合わせの際は、上記窓口取扱時間内に
原則として志願者本人が問い合わせてください。